

ノートパソコンの携帯

工学部及び薬学部では、社会的に通用する基礎学力の要をなす情報リテラシー習得に向けて、学生全員のノートパソコン所持を前提として教育を行っています。

すなわち、直接的な情報教育としてのコンピュータ関連の講義・演習のみならず、専門科目の実験・実習においても、レポートの作成・提出やプレゼンテーションなど、さまざまな場面でのノートパソコン使用機会を設け、大学生活を通して実践力・技術力が身に付くように指導しています。

ノートパソコン所持はしたがって必須と言えますので、下記要件を満たすノートパソコンを4月下旬までに用意してください。

後の文章で、幹旋パソコンを紹介していますが、既に必要な機能を有しているノートパソコンを保有している場合や、より高性能のノートパソコンを希望する場合は、幹旋パソコンを購入する必要はありません。

◎2026年度入学者向けノートパソコンに必要な機能

項目	必須	仕様等
OS	○	Windows11 Home 64bit 版以上 または 11 pro 64bit 版以上
CPU	○	Intel Core i5 以上または AMD Ryzen シリーズ以上 ※指定の CPU 製品であることをよく確認してください。Microsoft SQ3 等の CPU が搭載された Arm 版 Windows の場合、授業で必要な一部の Windows アプリが動作しないことがありますので注意してください。
メモリ	○	16 GB 以上（やむを得ない場合は 8GB でも可とする）
ディスク容量		256 GB 以上
本体重量		1.5 kg 以内であることが望ましい
ディスプレイ		液晶サイズ 13.3 インチ以上であることが望ましい 解像度 1920×1080 以上であることが望ましい
無線 LAN 機能	○	Wi-Fi 接続できること
Microsoft Office		Office なしモデルでも可 ※入学後は大学ライセンスの Office365 を無償利用できますので、Office2024 がプリインストールされている必要はありません。
カメラ		内蔵されていることが望ましい ※オンライン授業ではカメラを使うことがあります。
HDMI	○	1 ポート以上 ※HDMI 出力を備えていない場合はアダプタを用意すること。
バッテリー駆動時間		8 時間以上であることが望ましい

なお、ノートパソコンの機種選定に不慣れな方向けに、下記基準で選定した幹旋パソコン販売業者を紹介しています。

◎幹旋パソコン選定基準

- ・入門機として適切であること。
- ・経済的合理性があること。
- ・講義・演習等で使用する機能を満たしていること。

上記要件を満たすノートパソコンをすでに所持している場合や、上記要件を満たす他機種を自分で選定する場合は、幹旋パソコン取り扱い業者を利用する必要はありません。

なお、幹旋パソコンの詳細については、この入学のしおりに同封されている関係書類を見てください。

内容をよく確認したうえで、幹旋パソコンの購入を希望する場合には、関係書類の一つとして同封する「申込用紙」に必要事項を記入して申し込んでください。

ノートパソコンについて（よくある質問）

Q1. 幹旋パソコンの購入は必須ですか？

A1. 必須ではありません。「◎2026年度入学者向けノートパソコンに必要な機能」で定めた機能を満たすノートパソコンを既に保有している方や、より高性能のノートパソコンの購入を希望する方は、幹旋パソコンを購入する必要はありません。

Q2. 幹旋パソコンの販売はどのような方を対象としていますか？

A2. ノートパソコンの機種選定に不慣れな方を対象としています。どの機種を選べばよいか分からない方や、入学までにノートパソコンを選ぶ時間的なゆとりがない方は、幹旋パソコンを購入候補としてください。

Q3. Windows 以外（例：macOS , Google ChromeOS）のパソコンは使用できますか？

A3. 授業ではWindows 11のパソコン利用を前提として説明します。別途仮想PCでWindowsを稼働する等、受講の際に問題ない場合は、Windows 以外（例：macOS , Google ChromeOS）のパソコンを利用しても構いません。なお、OSがWindows以外の場合、学内の一部サービスやソフトウェアの利用が制限されることがあります。